

# 第3回 市長フォーラム

## ～ 地方の改革案に沿った三位一体改革の実現を目指して ～

### 趣旨・目的

地方分権改革は、国の政治・行政の基本構造を変革しようとするものであり、国と地方の関係を上下・主従の関係から対等・協力の関係に変え、過度に国に集中する権限・財源を住民に身近な地方自治体に移すことにより、地域のニーズに応じた多様で透明性の高い住民サービスを提供できる体制を確立することである。また、この改革は、自主自立の都市経営を可能とするばかりでなく、国・地方を通じた簡素で効率的な行財政システムの構築にも資する、言わば国民のための行財政改革でもある。

この改革の実現にあたっては、国から地方への税源移譲等を基軸とした都市税財政基盤の確立を図ることが不可欠であり、そのためにも地方の改革案に沿った三位一体改革を実現しなければならない。とりわけ 3 兆円規模の税源移譲の実現、交付税総額の確保、義務教育費国庫負担金を含めた補助金改革などを強く求める。

### 主 催

全国市長会 財団法人日本都市センター

### 開催日時

平成 17 年 11 月 9 日(水) 15:00 ~ 17:00(予定)

### 開催場所

全国都市会館 2 階 大ホール 東京都千代田区平河町 2-4-2

### テーマ

「地方の改革案に沿った三位一体改革の実現」

### 進 行

15:00

#### 開 会

#### パネルディスカッション

地方の改革案に沿った三位一体改革の実現

- ・ 3 兆円規模の税源移譲の確実な実施
- ・ 地方交付税の見直しと確実な財政措置
- ・ 義務教育費国庫負担金を含めた補助金改革
- ・ 生活保護や補助金廃止による負担転嫁の禁止

自主自立による効率的な都市経営の実現

- ・ 市町村合併に伴う都市の再編による行政改革の進展
- ・ 簡素で効率的な行財政運営の推進

フロアーからの意見、質疑応答等

#### 緊急アピール

17:00

#### 閉 会

**放映予定** 本フォーラムの様様については、(財)自治体衛星通信機構の地域衛星通信ネットワークにより、後日放映される予定です。

・全国市長会企画調整室

〒109-0093 東京都千代田区平河町 2-4-2 03-3262-2312

・財団法人 日本都市センター研究室

〒109-0093 東京都千代田区平河町 2-4-1 03-5216-8771

# パネルディスカッション 講師略歴

コーディネーター 影山 日出夫 (かげやま ひでお) NHK解説委員



1976年 NHK 入局、1982年 政治部記者、その後政治部副部長、「おはよう日本」編集責任者を経て、2000年よりNHK解説委員として「日曜討論」「あすを読む」などに出演中。

## パネリスト

山出 保 (やまで たもつ)



金沢市長・全国市長会会長

1954年金沢大学法文学部法学科卒業後、金沢市役所に入庁。企画調整部企画課長、財務部財政課長、財務部長を歴任し、1987年助役就任を経て、1990年金沢市長に初当選。現在4期目。また、2003年より全国市長会会長に就任し、今年6月に再任、現在に至る。

地方の自主性、自由度を高める「真の地方分権」を確立するため、三位一体改革の早期実現を目指す。

金澤 史男 (かなざわ ふみお)



横浜国立大学経済学部教授

1977年東京大学経済学部経済学科卒業、1982年東京大学経済学研究科博士課程修了。その後、静岡大学人文学部経済学科助教授、横浜国立大学経済学部助教授を経て、1995年より同教授に就任。現在、同大学院国際社会科学研究科長。

また日本地方財政学会常任理事、日本財政学会常任理事、神奈川県地方税制等研究会委員等を歴任し、地方財政に幅広く関与している。共編著に『グローバル化と福祉国家財政の再編』、編著に『現代の公共事業』、『財政学』がある。

阿部 孝夫 (あべ たかお)



川崎市長

1967年東京大学法学部卒業後、自治省へ入省。外務省領事、茨城県財政課長、石川県企画開発部長、同総務部長、環境庁企画調整局環境管理課長などを歴任、1987年以降、市町村アカデミー教授・研修部長、高崎経済大学地域政策学部教授などに就任

し、2001年に川崎市長に初当選、現在2期目。川崎再生に向けた新しい市政を目指している。著書に『政策形成と地域経営』、『これからの日本、これからの地方自治』などがある。

岡崎 誠也 (おかざき せいや)



高知市長

1975年青山学院大学経済学部卒業後、高知市役所へ入庁。企画部財政課長、企画財政部企画調整課長、産業振興部副部長を歴任。2003年高知市長に初当選、現在に至る。高知県市長会会長、四国市長会会長を務める。

四国初の中核市として、分権時代にふさわしい「暮らしゆたかに」「暮らしいきいき」「暮らしあんしん」を3つの柱として、「こころ豊かなしあわせ都市・高知」をめざしている。

横尾 俊彦 (よこお としひこ)



多久市長

1980年慶應義塾大学法学部卒業後、松下政経塾(第1期生)入塾、その後、地域活性化を経て、同塾の指導塾員、広報担当に就任。1994年日本新党常任委員、翌年地域経営研究所を主宰。1997年多久市長に初当選し、現在3期目。(財)孔子の里理事長、

多久市社会福祉協議会会長、佐賀県市長会会長、全国市長会財政委員会副委員長を務める。

小さくともキラリとひかるまちづくり「住みたい美しいまち多久」の創造を目指している。共著に『国の常識は地域の非常識』などがある。